

ミステリ読書案内

2024. 11. 29 発行元

第619号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

東川篤哉「新謎解きはディナーのあとで2」

9月に小学館から東川篤哉の『新謎解きはディナーのあとで2』が出た。ミステリ界の中ではベストセラー本のシリーズ。帯にあるように、誰が読んでも楽しい「国民的ユーモアミステリ」の代表作と言えるだろう。

キャラクターを見てみると…

一番の特徴は登場人物のキャラクター設定にある。大富豪の令嬢でありながら警視庁国立署の刑事を務めている宝生麗子。そしてその家に仕える執事の影山。このふたりの漫才的なやり取りが毎回楽しませてくれる。麗子が事件を解決するヒロインになりそうである最後のところで影山に探偵役を奪われてしまう流れ。パターンが決まっているだけに期待感が膨らむ。影山の決め台詞の炸裂。

そして脇役またしかり。ジャガーに乗って颯爽と登場する風祭警部。白スーツに真っ赤なネクタイ。でも結局は的外れの推理に…。麗子を支えてくれる先輩は若宮愛里刑事。元気いっぱい行動派。

今回の事件は…というところ

5編収録の短編集。『STORY BOX』に連載したものに書下ろしを加えている構成。第一話の『笠原邸の

殺人』は笠原貿易の名誉会長が屋敷の別館で殺された事件。ロープによる絞殺のように見えるのだが、その時伊万里焼らしき大皿が落ちたという。捜査陣はいろいろな推理を試みるのだが…。

捜査に行き詰った麗子が自宅に帰ってディナーのあとで影山に状況を話すお馴染みの流れ。アームチェアディテクトタイプの形。

本書に登場するトリックや仕掛けはオーソドックスなものを少し変形させた応用編なので、多くの人にとってわかりやすい内容が多い。読者に「なるほど、そうか」と思ってもらえればのレベル。

ダイニングメッセージ、アライバイ問題…

第二話の『灰色の血文字』はダイニングメッセージがテーマ。撮影スタジオビルの屋上の喫煙所で芸能事務所所長が撲殺された事件。ポイントになるのはアイドルタレントの星宮キラリの動き。でも、風祭

「謎解きはディナーのあとで」シリーズ

1. 謎解きはディナーのあとで
2. 謎解きはディナーのあとで2
3. 謎解きはディナーのあとで3
4. 謎解きはディナーのあとで
ベスト版(小学館文庫のみ)
5. 新謎解きはディナーのあとで
6. 新謎解きはディナーのあとで2

警部は熱心なファン(キラリストと呼ぶ)らしいので、捜査は一向にはかどらない展開に…。

第三話の『浜辺のパラソルの問題』は麗子が三浦半島沖の藤咲家の別荘を訪ねる話。藤咲家の子息の婚約披露パーティに招かれたため。浜辺に立てられたパラソルの傍の死体。パラソルと雨降りの天候が事件を解く手掛かりとなる。

不可思議な死体はなぜ…

第四話の『服を脱がされた男』と第五話の『四回殺された女』は死体の状況が変わっている。全裸で玉川の河川敷にころがされていた死体はなぜ…。一見首吊りに見える死体には首を絞めた跡や腹部をナイフで刺した跡が残されていた…。

ということで、今回も読者を楽しませる物語が並んでいる。東川篤哉は今後も多方面で活躍してくれるような期待を抱かせる作家である。

下村敦史「全員犯人、だけど被害者、しかも探偵」

8月に幻冬舎から出た本。

『小説幻冬』に連載された後単行本になった。『そして誰かがいなくなる』をきっかけに読み始めた作家なのだが、「感涙の…」とか「慟哭の…」とかを売り物にした路線よりは、『そして誰かが…』や本書のように、完全に作り上げられた設定の中でロジックを組み上げる「本格もの」パターンの方がこの作者はいい作品を書けるような気がするのだが…。題名の通り、クローズドサークルの中に閉じ込められた登場人物たちが、「自分が犯人である」と名乗りをあげたり、他者の主張の論理的穴を探す「探偵役」になったり…という展開。

電動自転車のブレーキの欠陥から事故が多発して死亡事故も何件か引き起こしたSHIKAGAWA社。世間の非難を浴びた社長が自殺。その後、その関係者の何人かに手紙が送られ、山奥の廃墟に閉じ込められる出来事に進んでいく。社長夫人、開発部長、販売部長、運転手、清掃社員、被害者の会の代表、ジャーナリストの七人が、廃墟の中に作られた模擬社長室に…。スピーカーからゲームメーカーの声が流れ、「社長は本当は自殺ではなく殺されたのだ。この中に犯人がいる。48時間後に毒ガスが流れる。犯人のみが生き残れる」と知らされる。七人は生き残るために「自分が犯人である」と論を展開し始める…。

中盤がやや中だるみの傾向。結末部分もスッキリ感が今ひとつ。ただ、途中で誰も入り込めないはずの空間に突然子どもが登場したりする場面は工夫されていると言える。『そして誰かが…』よりはちょっと…。